

デジタルプルーフングソフト  
Lascaux(ラスコー)

Digital Proofing Software  
featuring the EPSON Inkjet Printer

# Lascaux



# Lascaux

## デジタルブルーフィングソフト Lascaux (ラスコー)



```
Start of Processing ***:**
File Name : *****.tif
File Size : **,**,** bytes
File Type : TIFF
File Color Space :
V & H Size : **,**,** mm x ** *
Scaling Rate :
Hot Folder Name :
DLP Name :
Output Type :
Bidirectional Print ;
Printer Name :
```

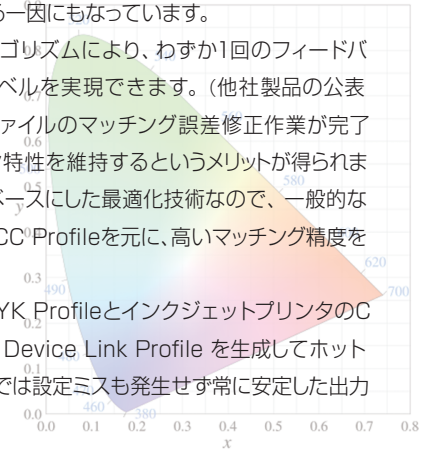
### POT(プロファイル最適化技術)搭載

ラスコーは、シンボリック・コントロールがセイコーエプソンと共同開発した ICC Profileのマッチング精度最適化技術 POT(Profile Optimizing Technology) ]を搭載しています。

従来から高いマッチング精度を実現するアプリケーションは存在していますが、それらはいずれも ICC Profile またはそれに相当するLUT (Look Up Table) を用いてカラーマッチングを行った後、マッチング誤差の修正を段階的に適用して精度を引き上げる技法を採用しています。誤差の修正はプロファイル適用結果の出力および再計測によるフィードバックを2~3回繰り返す手法が一般的ですが、これは時間がかかるだけでなくトーンジャンプを発生させる一因にもなっています。

これに対しPOTはまったく新しいアルゴリズムにより、わずか1回のフィードバックで世界最高水準となる色差 0.6 レベルを実現できます。(他社製品の公表値との比較) 従って、より短時間でプロファイルのマッチング誤差修正作業が完了するとともに、スムーズなグラデーション特性を維持するというメリットが得られます。 POT はあくまでもICC Profile をベースにした最適化技術なので、一般的なプロファイル作成ソフトを使って作られたICC Profileを元に、高いマッチング精度を実現することができます。

ラスコーの内部では、本機印刷の CMYK ProfileとインクジェットプリンタのCMYK Profile を直接対照テーブルにした Device Link Profile を生成してホットフォルダに割り当てていくので、運用段階では設定ミスも発生せず常に安定した出力結果を得ることができます。



## インクジェットブルーフは未踏の領域へ・・・

### PDF/X にも対応した高い生産性

- PDF/X の運用比率が高まるなか、PDF/Xの直接処理機能を搭載。
  - ◆ TIFF などのラスターデータ
  - ◆ PDF/X-1a や PDF/X-3 にも対応
- 各社ワークフローRIP との親和性を確保し、様々なワークフローの下でラスコーが活用できることを意味します。
- PDF/X に含まれる特色データを取り出し、CMYKデータに再配分してプリンタ出力する機能を持ち、パッケージ印刷など特色を多用するジョブにも活用することができます。

### 生産管理機能の搭載

ラスコーは一般的なログファイル作成機能に加えて、日付別、ジョブ別に出力枚数を検索・管理する機能を持ちます。将来的に生産管理フローの一環としてラスコーの生産管理機能を融合させることも可能です。

### 斬新なユーザーインターフェイスで高い操作性を実現

- 黒を基調とした画面上で、出力ジョブは「カプセル」として表示され、RIP 処理やカラーマッチング処理などの内部フローに合わせて移動。
- 処理中はプロセスインジケータが進捗率を表示。各ジョブの処理状況が一目で把握できる高い視認性が確保されます。
- カプセルにはホットフォルダの種別と出力ファイル名が表示され、クリックでプレビュー画像などすべての出力情報を呼び出すことも可能。
- さらにホットフォルダの監視状態表示や、ステータスに応じて不要なボタンをタスクバーに格納するアニメーション効果などに見られるインフォメーションリッチなインターフェイスは、ラスコーの大きな特徴となっています。

# EPSON Color Base と連動

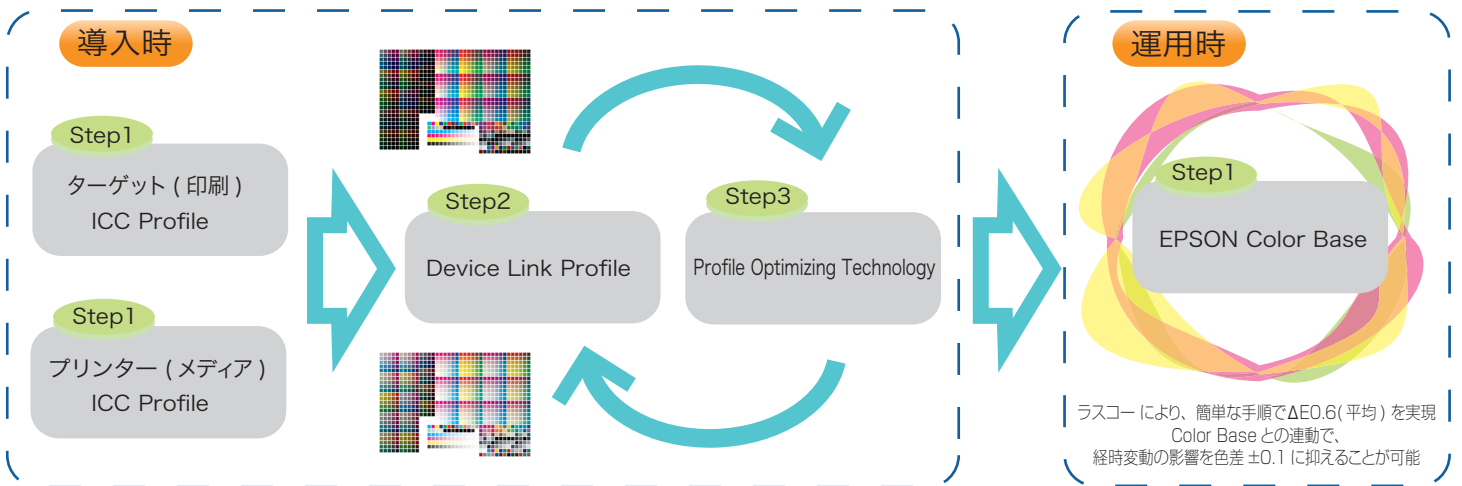
## プルーフ導入時点の色再現安定を維持

高精度なインクジェットプリンタでも、使用時間の累積やインクカートリッジの交換などの要因に加え、日々の温度や湿度などの環境変化によっても出力特性は影響を受けます。したがって設置当初のカラーマッチング精度を維持するためには、プリンタの出力特性を一定に保つ必要があります。

ラスコーはセイコーエプソンのキャリブレーションソフトウェア「EPSON Color Base」と連動する初めてのプルーフィングソフトウェアであり、プリンタを工場出荷時状態に維持することで、経時変動の影響を色差  $\pm 0.1$  に抑えることができます。設置時には工場出荷時状態を起点にプロファイル作成と誤差修正を行い、Device Link Profile によるカラーマッチング環境を設定します。その後は毎日の始業時に Color Base でキャリブレーションファイルを作成・適用してプリンタを工場出荷時状態にリセットすることで、プルーフ導入時点のカラーマッチング精度を高レベルで維持することができます。

Color Base による短時間の調整作業を日々継続することで、プルーフ出力の色再現に関する事故を最小限に抑え、安心して運用を続けることが可能となります。

\* Color Base の運用には、同ソフトが対応する分光測定器が必要です。



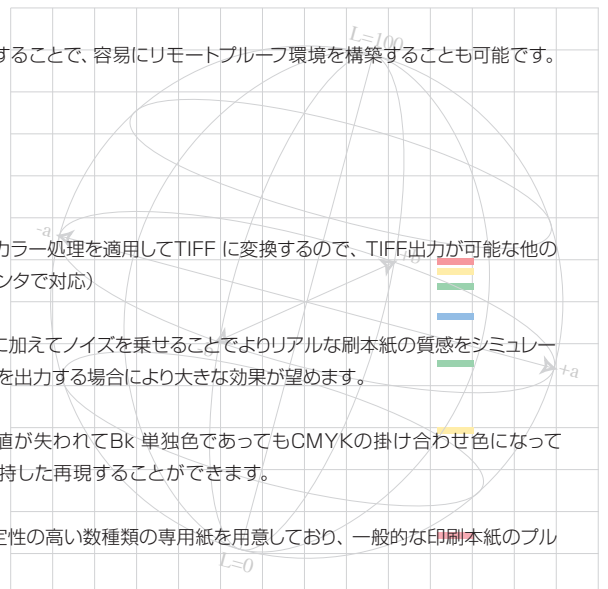
## インクジェットプルーフは未踏の領域へ

### ホットフォルダによる自動運用

- ラスコーはマルチホットフォルダ機能を搭載しており、それぞれ異なる出力設定を持つ複数のホットフォルダを持つことにより、様々な印刷本紙に対してホットフォルダを使い分けることで、大規模なプリプレス環境でも効率よく運用することができます。
- CTP用のワークフローRIPが導入された環境であれば、それを使って生成されたPDF/X やTIFFを自動的にホットフォルダに流れるようにするだけで、統一したワークフロー下でラスコーからのプルーフ出力を行うことが可能となります。
- インターネットを通じてPDF/X を遠隔地のホットフォルダに入れるようにワークフローを設定することで、容易にリモートプルーフ環境を構築することも可能です。

### その他の特徴

- TIFF OUT 機能  
PDF/X を汎用のTIFFに変換して出力することができます。特色を含むPDF/X もスポットカラー処理を適用してTIFFに変換するので、TIFF出力が可能な他のプリンタから特色出力を行うことが可能となります。(カラーマッチング処理はそれぞれのプリンタで対応)
- 色紙シミュレーション機能 \* (佐川印刷、扶桑プレジジョンとの共同世界特許技術)  
Device Link Profile 内では印刷本紙の紙色をCMYKで再現することが可能ですが、これに加えてノイズを乗せることでよりリアルな刷本紙の質感をシミュレーションすることができます。これは微塗工紙のようなざらつき感の大きな印刷本紙のプルーフを出力する場合により大きな効果が望めます。
- Bk 単独コントロール機能  
一般にカラーマッチング処理を行う場合は一度CMYK値をLab値に変換するため、Bk値が失われてBk単独色であってもCMYKの掛け合わせ色になってしまいます。これに対しラスコーはインクジェットプリンタでもスミ文字のBk100%を維持した再現することができます。
- 高精度なプルーフ品質が得られる専用紙を用意  
プルーフの品質に関しては用紙の選択も重要な要素となります。ラスコーでは色再現性と安定性の高い数種類の専用紙を用意しており、一般的な印刷本紙のプルーフを高い品質で実現維持できるようになっています。



## <動作環境>

OS	WindowsXP/Vista 32bit
CPU	デュアルコア(推奨)
GPU	シングルコア以上を搭載したグラフィックボード(推奨)
メモリ	2GB以上
HDD	空き容量100GB以上(推奨)
モニタ	1440X1050ドット以上のワイドタイプ(推奨)
I/F	USBポート x3以上、Ethernetポート
その他	キーボード、マウス、CD-ROM
対応プリンタ	以下のセイコーエプソン製インクジェットプリンタ ・ PX-6000/7000/9000 ・ PX-6500/7500/9500 ・ PX-7500N/9500N ・ PX-6550/7550/9550 ・ PX-10000 *対応機種は随時追加されますので、詳しくはお問い合わせください。
対応測定器	X-Rite I-One iSis (推奨) *対応機種は随時追加されますので、詳しくはお問い合わせください。

## <機能一覧>

対応フォーマット	入力:TIFF、PDF/X-1a、PDF/X-3、EPS、PS 出力:TIFF
対応Profile	ICC基準のProfileからICC基準のDevice Link Profileを作成
最適化	POTによるDevaice Link Profileのカラーマッチング精度最適化
自動処理機能	マルチホットフォルダによる出力作業の自動化
特色対応	CMYK+特色4色(CMYKを特色として指定することも可能)
プリンタ制御機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙種類、ロール紙/単票紙、解像度の選択</li> <li>出力サイズの選択(データサイズに合わせた自動設定も可能)</li> <li>片方向/双方向印刷の選択</li> <li>クリーニング動作の起動</li> </ul>
生産管理機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理ログの保管及び管理</li> <li>生産日付毎の統計処理</li> <li>ジョブ単位毎の統計処理</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>EPSON ColorBaselによるキャリブレーション機能</li> <li>Bk=100%部のBkインク単独描画機能</li> <li>紙色にノイズを加えて質感を向上させる機能</li> </ul>

- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。  
\*Windows® の正式名称は Microsoft Windows Operating System です。
- EPSONはセイコーエプソンの登録商標であり、ColorBaselはセイコーエプソンの商標です。
- Eye-Oneおよびi1は、X-Rite社の商標、または登録商標です。
- その他記載されている会社名、商品名、およびロゴは、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログの仕様ならびに商品デザインは改良のため予告なしに変更されることがあります。



シンボリック・コントロール株式会社

〒272-0033  
千葉県市川市市川南 3-10-6 サウス・アレイ1号

Tel (047) 325-8397 Fax (047) 325-8398

info@symbolic-control  
http://www.symbolic-control.co.jp